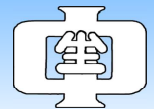


思いやりのある生徒
確かな学力をもつ生徒
心身ともにたくましい生徒



とうだい

平戸市立



生月中学校

自信と誇りもて歩め

見よここに

文化の花の

咲きかおる



25日、秋晴れの日、心地よい風が吹く中、「生月文化の日」が開催されました。「結算く新たなページをく」をテーマに、各学年、総合的学習の時間の取組を中心とした発表と合唱発表の二本立ての舞台と、美術をはじめ各教科の成果物の展示を加えた発表会となりました。



生徒会制作のオープニング映像で、会場の雰囲気期待感で満ちた中、実行委員長の白石尚幹くんの行った挨拶はやはり、最後の行事にかける3年生の思いを写したものでした。

本編トップバッターは1年生「生月の秘密でした。」



謎の石を巡って物語が進む中に、展開に関わる事業所の説明や体験発表が盛り込まれていました。参観者の感想

1学期末に行ったフィールドワークを旅物語風に入れながら、入れ替わり立ち替わりのステージでした。島の館の中心としての発表も受け、正確な情報発信に努めたようです。最後には生月大橋を表す組み体操を取り入れ、最後まで楽しい発表でした。



最後は、3年生による「修学旅行in広島」で、これも2060年の同窓会という趣向が凝らされた発表でした。持病自慢から始まり、当手を振り返る流れで、訪れた場所の紹介やバスレクを模したクイズ等を交え、それぞれ芸達者なところも見せ、見応えのある発表でした。さすが3年生という感想もたくさん聞かれた面目躍如の発表でした。

幕間には、会場のみんなが熱心に展示物の鑑賞を行っている姿が見られました。緩やかな時間が流れ、文化の秋という感じがしました。

だが、見事な仕掛けだったと思います。最後、それぞれのワークウェアで集合した姿は、職場体験の3日間がとても充実していたことを感じさせました。

順に披露されました。下級生が上級生に憧れ、来年は再来年こそめには。知恵と勇気を与えてくれるイラストも楽しい本です。

日頃から、音楽室から流れてくる明るい歌声や、放課後、階段を降りてくる生徒が、合唱曲を含め歌を口ずさんでいるのをよく耳にしていたので、きつといた歌声を披露してくれるに違いないという期待がありました。それぞれ学年が気合いを入れた後、全校合唱「旅立ちの時」Asian Dream Song」で合唱発表会がスタートしました。生徒数は少なくなりましたが、全校での歌声は、体育館いっぱい響き渡りました。

そして、1年生「あなたに会えて」、2年生「あなたへ旅立ちに寄せるメッセージ」、3年生「明日のために」と各学年らしいハーモニーが

たが、見事な仕掛けだったと思います。最後、それぞれのワークウェアで集合した姿は、職場体験の3日間がとても充実していたことを感じさせました。

26日、たびら活性化施設で、イングリッシュスピーチコンテストが開催され、3年生の大浦煌輝くんが出場しました。平戸市が抱える問題について、生徒会で考えたことを堂々と発表しました。表現の素晴らしさもさることながら、熱意が強く伝わるスピーチでした。



ら、熱意が強く伝わるスピーチでした。

謎のイキモノ「くうき」に操られ、「まさか」の未来にたどりつかないためには。知恵と勇気を与えてくれるイラストも楽しい本です。

新着本から
レコメンド本②
『くうき』が僕らを呑みこむ前に』 山田健太・たまむらさちこ著

